

豊田村誌目次

第一編 自然環境

第一章 地理的位置	一
第二章 地形 地質	一
第一節 概 観	一
第二節 斑 尾 山 (一、三八一 八米)	三
第三節 三紀層地帯	七
第四節 永江盆地及び穴田の谷	三
第五節 米山山塊	四
第六節 奥手山丘陵	七
第七節 長丘及び高丘の丘陵	九
第八節 千曲川及び沿岸の平地	二〇
第三章 地殻の変動	二九
第一節 地殻の変動	二九
第二節 地 震	三三
第四章 地 史	三三
第三紀中新世初期	三三
第三紀中新世中期	三三
第三紀中新世後期	三六
第三紀鮮新世	三七
第四紀洪積世初期	三六
第四紀沖積世 (現在)	三六

第五章 気 候

第一節 豊田村の気候の特色	四〇
第二節 豊田村の四季の気候特色	四〇
第三節 春の気候	四〇
第四節 夏の気候	四六
第五節 秋の気候	四六
第六節 冬の気候	四七
第七節 気候と農業	四八
第八節 気候の異常年	四九
第九節 気候の変動	五〇
第二編 生 物	五九
第一章 生物概観	五九
第二章 動 物	六〇
第一節 総 説	六〇
第二節 自然環境と動物	六〇
一 地形と動物	六二
二 気候と動物	六三
三 植生と動物	六三
四 人為と動物	六三
第三節 主要動物	六四
一 哺乳類	六四

二鳥類	二三
三爬虫類、兩棲類	三九
四魚類	三七
五昆虫類	二〇
六蜘蛛類	二二
七多足類	一六
八甲殻類	一七
九腹足類	一九
二双殻類	二一
二その他の動物	二四
第三章植物	二六
第一節総説	二六
第二節植物の分布	二七
一平地の植物	二九
二山地の植物	三二
第三節村内植物目録	三〇
一花 曆	三〇
二植物目録	三三
第三編 通史	
第一章豊田村の古代文化	三四
第一節無土器文化	三四
第二節縄文文化	四七
第三節弥生式文化	五四
第四節古墳文化	五七

第五節古墳文化以後	五三
第二章江戸時代以前の豊田村	五九
第三章江戸時代の飯山領主	三五
第一節石川光吉と森忠政	三五
第二節関長門守一政	三六
第三節皆川山城守広照	三七
第四節堀丹後守直寄	三九
第五節佐久間氏三代	三六
第六節松平遠江守	三八
第七節永井伊豆守	四八
第八節青山氏時代	五一
第九節本多氏	五七
第四章江戸時代の藩政	五九
第一節藩庁の組織	五九
第五章村の発達	三七
第一節鄉村制度	三七
一村役人	三七
二五人組制度	三七
三村寄合	三六
四村極	三六
五村指出明細帳	三九
第二節租税制度	四〇
一検地	四〇
二年貢	四七
三課税	四八

四助郷	四三
五村入用	四九
第六章戸口の變遷	四二
第七章農村生活	五〇
一農村經濟	五〇
二住居	五六
三衣服	五〇九
四食物	五〇
五農村の奉公人	五三
六農村の娛樂	五五
第八章災害	五六
一千曲川の災害	五六
二火災	五三
三地震及山崩	五七
四凶歉	五〇
第九章百姓一揆	五三
一安永二年の飯山騒動	五四
二文化元年十二月の騒動	五七
三浅野騒動	五九
第十章巡檢使	五四三
第十一章明治時代	五五三
第一節戊辰浪人の役	五五三
第二節廃藩置県	五六〇
第三節区制時代	五六五
第四節地租改正	五七〇

第五節郡役所の開設と戸長役場の開始	五七四
一下水内郡役所の開設	五七四
二豊津村外三ヶ村時代	五七七
第六節豊井永田二ヶ村時代	五七八
第十二章大正時代	五八五
第十三章昭和時代	五八七
第四編交通及通信	
第一章概説	六一
第二章斑尾山麓の古道	六一
第三章永江街道	六四
第四章替佐峠	六三〇
第五章郡道	六三九
一永田街道	六四〇
二小割街道	六四二
三本沢街道	六四三
四上今井停車場線(郡道)	六四四
五上今井停車場線(県道)	六四四
第六章県道飯山街道	六四四
第七章飯山鉄道	六四五
第八章高井郡との交通	六五三
第九章通信機關の発達	六六六
第五編産業經濟	
第一章郷土の開発	六六九

第一節 概 観	六九
第二節 耕地整理	七〇
一 整理前の状態	七〇
二 整理事業の着手及施行反別	七二
三 耕地整理前後の地目と反別	七三
四 耕地整理の資金	七四
第三節 親川の開田（七曲開田）	七五
第四節 堀川事件	七五
第五節 古河敷の開田	七六
第六節 袖山の開墾	七六
第七節 斑山開拓団	七六
第二章 用 水	七六
第一節 払沢溜池延期問題	七六
第二節 用水路及用水路に関する訴訟	七六
一 上今井の用水路	七六
二 蓮 堰	七六
三 月夜嶽堀抜	七六
四 前田堰墜道	七六
第三節 河 川	七六
一 斑 川	七六
二 上 総 川	七六
三 本 沢 川	七六
第四節 斑尾大池の築造	七六
第三章 農 業	七六
第一節 稲作の変遷	七六

第二節 畑 作	七四
第三節 果樹栽培	七六
第四節 小 作	七三
第五章 肥料の変遷	七四
第六章 農具の変遷	七四
第七章 畜 産	七五
第八章 蚕 糸 業	七五
第一節 養蚕及製糸業	七五
第二節 蚕種製造業	七五
第三節 蚕業組合	七五
第九章 農業関係の諸団体	七五
第一節 下水内勸業会豊井支部	七五
第二節 村 農 会	七五
第三節 農 業 会	七五
第十章 農地改革	七五
第十一章 工 業	七五
第一節 酒 造	七五
第二節 製 油 業	七五
第六編 林 野	
第一章 概 説	七三
第二章 江戸時代山林草野の論争	七五
一 永江村と芋川村との論争	七五
二 永江村と蓮村との境界論	七五
三 南永江と東柏原入会論争	七五

第七編 教育

第一章 明治維新前の教育	八元
第一節 総説	八元
第二章 明治維新後の教育	八五
第一節 小学校の創設	八五
第二節 豊井教育会の創立	八五
第三節 豊井尋常高等小学校	八五
第四節 永田尋常高等小学校	八六
第五節 学区取締と学務委員 附学校医	八七
第六節 教育委員会	八七
第七節 社会教育	八七
一 青年会	八七
二 婦人会	八八
三 公民館	八九
第八章 兵事及警備	九〇
第一章 兵事	九〇
第二章 消防	九〇
一 私設豊井消防組	九一
二 公設豊井消防組	九二
三 豊井消防組の分離豊津 上今井消防組設置	九三
四 豊井消防団	九五
五 豊井消防団	九五
六 豊田村消防団第一第二分団	九六
七 永田消防団	九七
八 豊田消防団第三第四分団	九八
第三章 巡査駐在所	九八
四 穴田村と三俣新田山論	九七
五 芋川永江両村入会原野境論	九八
六 斑山干草場一件	九八
七 南永江と梨久保との山論	九九
八 芋川村と親川梨久保山論	九九
九 南永江と東柏原はじかみ草場論争	九九
第三章 入会に関する諸問題	九九
第一節 入会の起源	九九
第二節 入会の名称	九九
第三節 入会地の名称と入会料	九九
第四節 入会の制限	九九
第五節 特殊慣行	九九
第四章 江戸時代本村内の山林の種類	九九
第一節 御林	九九
第二節 社寺林	九九
第三節 百姓林	九九
第五章 植林	九九
一 第一期植林	九九
二 記念林	九九
三 第二期植林	九九
第六章 財産区有林の概要	九九

第八編 兵事及警備

第二章 明治維新後の教育	八五
第一節 小学校の創設	八五
第二節 豊井教育会の創立	八五
第三節 豊井尋常高等小学校	八五
第四節 永田尋常高等小学校	八六
第五節 学区取締と学務委員 附学校医	八七
第六節 教育委員会	八七
第七節 社会教育	八七
一 青年会	八七
二 婦人会	八八
三 公民館	八九
第八章 兵事及警備	九〇
第一章 兵事	九〇
第二章 消防	九〇
一 私設豊井消防組	九一
二 公設豊井消防組	九二
三 豊井消防組の分離豊津 上今井消防組設置	九三
四 豊井消防団	九五
五 豊井消防団	九五
六 豊田村消防団第一第二分団	九六
七 永田消防団	九七
八 豊田消防団第三第四分団	九八
第三章 巡査駐在所	九八

第九編 移 植 民

一 豊井巡查駐在所	九三〇
二 永田巡查駐在所	九三二

第一章 海外発展	九三五
----------	-----

第二章 満洲国移民	九三七
-----------	-----

第三章 満蒙開拓青少年義勇軍	九四三
----------------	-----

一 青少年義勇軍の創設	九四三
-------------	-----

二 訓練所開設と義勇軍の送出	九四四
----------------	-----

第十編 社寺及史蹟

第一章 神 社	九四七
---------	-----

一 天和二年本村内の神社	九四七
--------------	-----

二 書上帳又は指出帳に見えたる神社	九四八
-------------------	-----

三 本村内のおもなる神社	九四九
--------------	-----

永江神社、永江諏訪神社、穴田八幡宮、武運濃神社、高国濃神社、諏訪神社

第二章 寺 院	九五三
---------	-----

一 上今井西迎寺	九五三
----------	-----

二 上今井普賢寺	九五六
----------	-----

三 天 正 寺	九五八
---------	-----

四 真 宝 寺	九五九
---------	-----

五 円 満 寺	九六三
---------	-----

六 穴田東正寺	九六三
---------	-----

七 浄国山安養寺	九六四
----------	-----

第三章 史 蹟	九六六
---------	-----

一 替佐城址(対面城)	九六六
-------------	-----

二 古屋敷(風呂屋敷)	九七一
-------------	-----

三 内 堀	九七三
-------	-----

四 笠倉城址(森の家)	九七三
-------------	-----

五 永井城址(山城)	九七四
------------	-----

六 永井館址(真宝寺附近)	九七五
---------------	-----

七 今井城址	九七五
--------	-----

八 名立神社址	九七六
---------	-----

年表	九七九
----	-----

文献目録	一〇〇七
------	------